

大学名等	東北大学大学院医学系研究科
教育プログラム・コース名	地域病理医養成コース（正規課程）（テーマ①）
対象職種・分野	医師・病理学
修業年限（期間）	4年
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腫瘍に関する卓越した知識・技術や高いリサーチマインドを有し、地域のがん医療に貢献する病理医</li> <li>・ゲノム医療全般に精通し、多くの診療科と連携し、希少がんや遺伝性腫瘍患者・病的バリエーション保持者等を臓器横断的に診断できる病理医</li> </ul>
修了要件・履修方法	必修科目を含む医学履修課程の系統講義コース4単位以上、トレーニングコース20単位以上、アドバンスド講義2単位以上、計30単位以上を取得して、論文研究に合格すること。
履修科目等	<p>&lt;必修科目&gt;臨床腫瘍学特論I～II*（4単位）、病理腫瘍学特論（4単位）、分子病理専門医トレーニング（1単位）、論文研究（10単位）</p> <p>&lt;選択必修科目&gt;病理腫瘍学トレーニングI～II（各4単位）のうちいずれか一つ</p> <p>&lt;選択科目&gt;臓器横断病理トレーニング（4単位）、がんプロ合同セミナー#（2単位）、がん医科学セミナー（2単位）ほかコア科目系統講義コース科目・トレーニングコース科目・アドバンスド講義科目、がんプロ科目トレーニングコース科目。*ゲノム医療、希少がん、小児がん、次世代腫瘍予防、腫瘍研究開発に対応、#遺伝子診療部教育セミナー、希少がん・難治がんカンファレンス、がんセミナー等を含む。</p>
がんに関する専門資格との連携	病理専門医（日本病理学会）の認定施設。がん薬物療法専門医（日本臨床腫瘍学会）、消化器病専門医（日本消化器病学会）、乳腺専門医（日本乳癌学会）、婦人科腫瘍専門医（日本婦人科腫瘍学会）、遺伝性腫瘍専門医（日本遺伝性腫瘍学会）の研修施設として認定。
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のゲノム医療を担う病理専門医を養成するための講義・実習内容（新規性）</li> <li>・腫瘍病理、遺伝性腫瘍、ゲノム医療を博士研究テーマを持つ（独創性）。</li> <li>・海外との共同研究を積極的に行う（留学期間を在学期間に参入する規定あり）。</li> </ul>
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北大学病理関連分野の教授以下教員合計10名程度が中心。さらに東北大学病院腫瘍内科、消化器内科、乳腺外科、婦人科、遺伝科、加齢・老年科、緩和医療科、放射線治療科、血液免疫科、消化器外科、小児科、東北メディカルメガバンク等の各々の領域の専門医が連携して指導する。</li> </ul>
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課程修了1年後までに病理専門医及び分子病理専門医を取得。</li> <li>・東北地方のがん診療連携拠点病院に勤務し、新ニーズを普及・啓発。</li> <li>・腫瘍病理、がんゲノム医療を専門とする大学等の腫瘍学研究者。</li> </ul>